

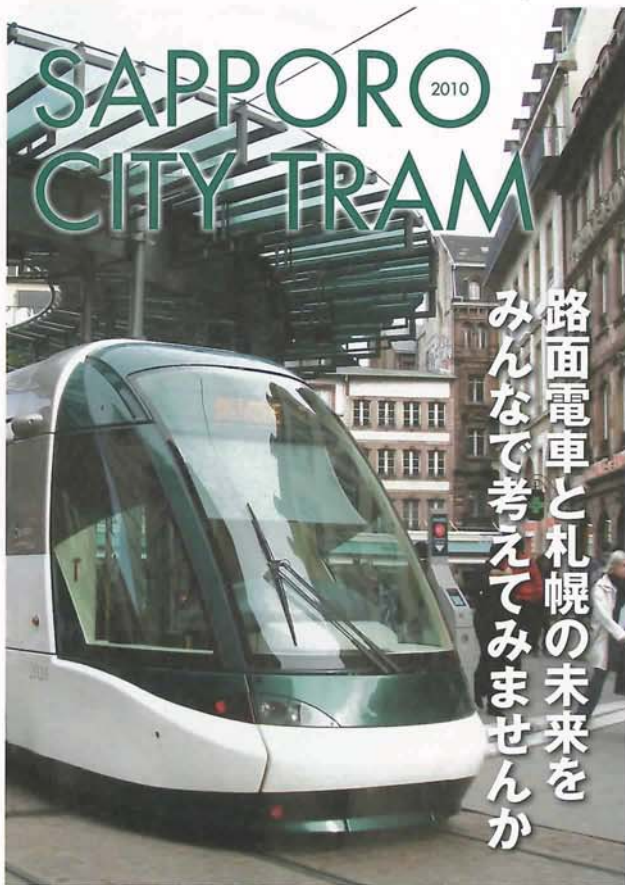
市電のふるさと



〈市電の会賛助会員 野村耕一氏撮影〉

もくじ

特集①	札幌市路面電車活用方針.....	1
特集②	イベント電車を運行.....	2～3
Topics	4～6
お知らせ	7



パンフレットの表紙

路面電車と札幌の未来を
みんなで考えてみませんか

特集
1

「路面電車活用方針」が
まとめられました

平成22年3月、札幌市は、人や環境に優しく、都心のまちづくりや観光の振興への活用も期待できる路面電車について、路線を延伸すべきであるとし、この考えに至るまでの分析・検討内容を「札幌市路面電車活用方針」としてまとめました。

活用方針では、路面電車事業の現状、路面電車存続の必要性・まちづくりへの活用の方向性、路線延伸の検証対象地域と利用人数や事業の収支見通



延伸検討地域

しなどから、「都心」「創成川以東」「桑園」の3地域を対象に、今後、延伸の具体的な検討を進めたいとしています。

札幌市では、路線延伸は大きな費用負担を伴うことから、実施の判断には十分な市民議論が必要だとしています。そこで、平成22年6月10日の「路面電車の日」から「活用方針」の内容を分かりやすく説明したパンフレットを配布しているほか、同日から各区で開催されているパネル展を皮切りに、フォーラム（8月予定）や市民会議（秋ごろを予定）の開催などにより、市民の皆さんへの情報提供と、市民の皆さんからの幅広い意見の募集に本格的に取り組むこととしています。

パンフレットは、各区役所・区民センターのほか、市役所本庁舎2階市政刊行物コーナーなどで配布されています。お問い合わせは札幌市市民まちづくり局総合交通計画部都市交通課（TEL 011-211-2492）へ。

パネル展の開催日時・会場

期 間	会 場
6月23日(水)～6月27日(日)	東区民センター (東区北11東7)
6月25日(金)～6月29日(火)	西区民センター (西区琴似2-7)
7月1日(木)～7月5日(月)	白石区民センター (白石区本郷通3北)
7月8日(木)～7月12日(月)	清田区民センター (清田区清田1-2)
7月15日(木)～7月17日(土)	南区民センター (南区真駒内幸町2)
7月23日(金)～7月24日(土)	
7月17日(土)～7月21日(水)	北区民センター (北区北25西6)
7月24日(土)～7月28日(水)	厚別区民センター (厚別区厚別中央1-5)

※開催時間は、いずれも10:00～17:00。なお、中央区、手稲区、豊平区はすでに終了しています。



中央区民センターでのパネル展

特集 2 イベント電車を運行

市電の会では、平成18年度から札幌市中央区との協働により、市電と沿線が市民や観光客に親しまれるよう、「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」を行っています。

平成21年度はP4と5に掲載した事業のほか、次のイベント電車を運行しました。

① うっさん電車で行こう!! 市電フェスティバル!

平成21年8月30日(日)に行われた市電フェスティバルの開催にあわせ、「うっさん電車で行こう!! 市電フェスティバル!」を実施しました。



うっさん電車「発車オーライ!」

これは、市電フェスティバルの開催や市電の楽しさを伝えるとともに、同年9月5日(土)から8日(火)に開催された

「ねんりんピック北海道・札幌2009」を応援しようと思ったもので、事前に申込みを行ったところ、152人からの参加申込みがあり、抽選で選ばれた3歳から72歳の方30人が参加しました。

同大会のマスコット「うっさん」が乗車する貸切電車「うっさん電車」は、午前10時に西4丁目電停を出発。うっさんとの交流やねんりんピッククイズなどで盛り上がったあと、電車事業所からすすきの電停での折り返しのときには、バルーンアーティストのエリサさんのパフォーマンスと体験会を楽しみながら市電フェスティバル会場である電車事業所に向かいました。

また、電車の内外には、ヘッドマークの装着、ポスター掲示、バルーンアートなどで華やかに装飾し、ねんりんピックや市電フェスティバルをPRしました。

参加者は、うっさんとの記念撮影や、オリジナル共通ウイズカード入りの記念乗車証明書、うっさんジグソーパズルなどのプレゼントに大喜びするなど、市電沿線の旅を楽しんでいました。

また、電車の内外には、ヘッドマークの装着、ポスター掲示、バルーンアートなどで華やかに装飾し、ねんりんピックや市電フェスティバルをPRしました。

参加者は、うっさんとの記念撮影や、オリジナル共通ウイズカード入りの記念乗車証明書、うっさんジグソーパズルなどのプレゼントに大喜びするなど、市電沿線の旅を楽しんでいました。



車内でうっさんとの交流



エリサさんのパフォーマンス

②「お笑い貸切電車」の運行

平成22年3月28日(日)に、札幌吉本のお笑い芸人3組(上海ドール、SF革命、しろっぶ)が乗車する「お笑い貸切電車」を運行しました。

これは、いつもと違う電車の楽しみ方を知ってもらうとともに、普段は市電に乗る機会が少ない方などにも市電への愛着を深めてもらいたいと企画したもので、146人からの申込みがあり、抽選により4歳から70歳までの方60人が参加しました。

車両内外をヘッドマークやポスターなどで装飾した貸切電車は、第1便が午後2時に西4丁目電停を、第2便は午後3時20分にすすきの電停を出発し、お笑い芸人によるライブやトーク、交流イベントなどを楽しみながら、それぞれ電車事業所を経由してすすきの電停、西4丁目電停に向かいました。市電に絡めたネタや市電沿線のおすすめスポットなどが紹介されると、参加者からは笑い声と拍手が起こっていました。当日は時折雪が降る悪天候でもありましたが、電車内の熱気で雪もたちまち解けてしまったようです。



札幌吉本のお笑い芸人の皆さん

また、市電にまつわるクイズも行い、参加者は今まで知らなかった市電の歴史にも触れ、市電の魅力を再認識していました。最後に参加者は、お笑い芸人に記念撮影や握手を求め、いつもとは一風変わった市電でのひとときを存分に楽しんでいただきました。友人3人で参加した高校生からは「ゆっくりと中央区の街並みを見ることができたし、お笑い芸人のネタも聞けたので楽しかった。またこういう企画があったら参加したい。」との声も聞かれました。



車内の様子と装飾した「お笑い貸切電車」



TOPICS

1

市電フェスティバル

平成21年8月30日(日)、電車事業所(南21条西16丁目)と隣接する市立伏見小学校サブグラウンドを会場に、第5回市電フェスティバルが行われました。これは、中央区のシンボルの存在である市電をテーマとしたイベントを実施することにより、市電に対する愛着を一層深めていただくとともに、市電沿線の区民のふるさと意識を醸成し、地域の活性化を図ることを目的に、中央区や交通局などの主催で行われているものです。

この日はあいにくの曇り空でしたが、約9,500人の方が来場し、電車事業所では、運転台体験、市電と綱引き、市電と写真撮影などが、伏見小サブグラウンドでは、吹奏楽などのステージイベントやミニてつくん運行のほか、山鼻未来・ネットワーク協議会による露店や縁日などが行われ、多くの家族連れなどが、夏の終わりのひとときを楽しみました。



にぎわう会場



ステージイベント



市電と綱引き



ミニてつくん



廃棄部品バザー



架線修理車体験試乗

市電の会も協力という形で参加。賛助会員の中から14人の方々のご協力をいただきながら、賛助会員入会の受付のほか、水彩画鉛筆画家の鈴木周作さんの絵画展、「市電の豆知識スタンプラリー」や「うっさんスタンプラリー」などを行い、多くの方々に楽しんでいただくことができました。

今年8月29日(日)に開催されます。

TOPICS

2

うっさんスタンプラリー

市電フェスティバルの際に「うっさんスタンプラリー」を行いました。これは、前述した「ねんりんピック北海道・札幌2009」大会のPRイベントが同日にさつぽろプロムナード（駅前通歩行者天国）で行われたことから、同大会のPRや市電への愛着を深めてもらうという目的です。ねんりんピックPRイベントと市電フェスティバル会場の2つのラリーポイントを回った参加者から抽選で10人の方に、雪の結晶の形をした紙石鹸「初雪」や北海道木材を使用した動物たち「木のZOO4種入り」などの詰め合わせをお送りしました。

市電の豆知識スタンプラリー

市電フェスティバル会場内において、市電と沿線について理解を深めてもらうと、「市電の豆知識スタンプラリー」を行いました。参加者の多くは小学生の子どもたちで、市電の豆知識に関心しながらスタンプラリーを楽しんでいました。このスタンプラリーは



スタンプも順番待ち



スタンプラリーを楽しむ子どもたち

TOPICS

3

市電と沿線の写真展「温故知新」

市電と沿線の魅力や歴史について認識を高めてもらうとともに、現在の市電や沿線への愛着を深めてもらうと、市電と沿線の写真展「温故知新」を開催しました。開催期間は平成22年3月2日(火)から14日(日)までと、3月16日(火)から19日(金)までで、それぞれ札幌市資料館と中央区役所ロビーを会場としました。

写真展では、当会が平成20年度から実施している「市電と沿線の古い写真、集めます」で提供のあった写真や、平成22年1月で廃止となった札幌市写真ライブラリー所蔵の写真を中心に60〜80点展示。架け替え前の豊平橋を馬車と並走する市電や、南2条西11丁目にあった中央車庫の建物などを展示したところ、来場者からは「いやー、懐かしいな。学生の頃はよく市電に乗って通学したんだよ。」などの意見が聞かれるなど、皆さん1点ずつじっくりとご覧になったようです。期間中、資料館では400人以上の方に、区役所では来庁された多くの方に見ていただきました。

また、会場では写真展にちなんだクイズも実施しました。241



札幌市資料館での展示風景



中央区役所ロビーでの展示風景

TOPICS

4 イルミネーション電車の運行

大好評で、用意した500枚のラリー用紙は、瞬間になくなりました。すべてのポイントを押し終わった方には、もれなく、ねんりんピックのシールとばんそうこうをプレゼントし、さらに抽選で50人の方には「木のZOOストラップ」を差し上げました。

札幌の魅力ある路面電車を活用して、観光や商業、芸術文化などの魅力アップと活性化に貢献しようと、冬のイベントでもある雪まつりやバレンタインデーにあわせて平成22年1月12日(火)〜2月14日(日)の間中、イルミネーションで装飾した市電が運行されました。これは、当会の吉中新太郎会長が別に会長を務める「路面電車沿線活性化協議会」が実施しているもので、今回で4回目となりました。



内装作業



イルミネーション電車の内装

路面電車1両を藻岩山の木々をイメージしてデザインしたイルミネーションで装飾し、車内にも藻岩山の自然や冬の札幌をイメージした装飾が施され、毎日7便程度が運行されました。このデザインは札幌市立大学の学生がデザインし

たもので、市民や観光客の目を楽しませました。なお、イルミネーション電車の車両内外の装飾作業及び撤去作業の際には、学生ボランティアに加え、当会の賛助会員延べ26人のボランティアの協力があり、大変寒い中ではありましたが和気あいあいとしみながら作業をしていただきました。また、イルミネーション電車に乗車された市内の主婦の方から北海道新聞への投書が寄せられ、「市電の車内にきれいなデコレーションがあり、心がなごみました。天井には春らしい色合いの糸を張りめぐらし、窓際には白い雪のようなポンポン。つり草も毛糸で装飾する凝りようで、とても良い雰囲気を出していました。カードの図柄に使っては、と思うくらいすてきでした。」と平成22年1月27日(水)の同紙夕刊に掲載されました。

人から応募があり、抽選で63人に当会賛助会員の野村耕一さんが撮影した写真のオリジナル卓上カレンダーなどをプレゼントしました。当会では、引き続き「市電と沿線の古い写真、集めます」を実施するほか、市電と沿線の写真展も実施していきたいと考えています。



今年の「イルミネーション電車」の走る風景を描いた鈴木周作さん(水彩色鉛筆画家。賛助会員。)の作品

お知らせ

1

路面電車の日記念

「のってeco!クイズ」

（財）札幌市交通事業振興公社では、路面電車の日である6月10日を記念して、「のってeco!クイズ」（乗ってこクイズ）を行っています。これは、平成22年6月1日(火)～6月30日(水)に実施しているもので、市電に乗車していただき市電の魅力を再発見してもらうとともに、市営交通のさらなる乗客誘致とイメージアップを図ろうと行われるものです。

参加方法は、市電に乗車し、ポスターに掲載されたクイズ全10問にチャレンジして解答用紙に記入。7月17日(土)、「交通資料館まつり」が開催されている同資料館に解答用紙を持参すると、正解数に合わせて、もれなく「のってeco!クイズ」オリジナルウィズユーカード(1,100円分)、オリジナルエコバッグなどの記念品がもらえます。

解答用紙（先着500人）は、地下鉄大通駅コンコースにある大通定期券発売所で、市電に乗車可能な乗車券を購入または掲示した方に限り、配布されます。

この機会にぜひ市電クイズの旅に出掛けてはいかがでしょうか？

（※ 当該クイズは6月1日(火)から実施しているため、当広報誌が発行された時点で、定員に達している場合があることをご了承ください。）



お知らせ

2

「市電の会」賛助会員募集

市電の会では賛助会員を募集しています。市電の好きな方ならどなたでも入会できます。年会費は、個人1,000円、団体10,000円です。会員になられた方には、会員バッジ（新規会員のみ）、特製ウィズユーカード「さっぽろ市電歴史シリーズ」（利用可能額500円）及び会報「市電のふるさと」を差し上げるほか、当会のイベント情報などを随時お送りします。

入会をご希望の方は、中央区役所や区内の各まちづくりセンターでお渡しする入会申込書に会費を添えてお申込ください。また、郵便局からの振込もご利用いただけます。（振込手数料はかかりません。希望される場合は、下記までご連絡ください。「払込取扱票」を送付いたします。）

さらに、インターネットによる受付も行っています。詳しくは、中央区ホームページの「市電倶楽部」をご覧ください。

市電の会事務局

〒060-8612

札幌市中央区南3条西11丁目 中央保健センター 6階

札幌市中央区役所地域振興課内（まちづくり調整担当）

TEL (011)231-2400内線471 FAX (011)511-7234

URL <http://www.city.sapporo.jp/chuo/shiden/index.html>E-Mail ch.shidennokai@city.sapporo.jpお申し込み・
お問い合わせ